

進路だより 浜佐浜

Vol.2

令和7年7月17日発行
福島県立原町高等学校進路指導部

7月4日に講義ライブを開催しました。参加者173名



「未来に夢をつなぐ材料研究」
東北大学工学部材料科学総合学科 成田史生



「気候変動と安全保障」
茨城大学人文社会科学部 蓮井先生



「持続可能なまちづくりプロセスのデザイン」
FREI 東北大学災害科学国際研究所 苅谷先生



医療従事者の仕事／看護の仕事
南相馬市立総合病医院

今年度は、進路指導部と探究開発部が合同で講義ライブ（大学等模擬講義）を開催しました。東北大学工学部、茨城大学人文社会科学部、東北大学災害科学国際研究所、会津大学コンピュータ理工学部、南相馬市立総合病院より講師の先生方をお招きしました。昨年までは別日程で行っていた医療コースの模擬講義を講義ライブと同日に開催しました。参加を希望した生徒が6つの会場に分かれて、それぞれ90分の講義を熱心に聞いたり、積極的に質問したりしていました。それぞれにとってよい刺激になったようです。こういった機会を活用し、進路決定や学問分野の研究に生かしてほしいと思います。

※参加生徒の感想は裏面に掲載

イノベーションコースト構想キックオフ講演会開催

6月12日（木）の総合的な探究の時間に、東京科学大学教授の飯田香緒里先生をお迎えして、「大学で生まれる新しい挑戦」というテーマで医療イノベーションについての講義を聞きました。東京科学大学は2024年10月1日に東京工業大学と東京医科歯科大学が統合して誕生した大学です。生徒たちもちょっぴり緊張しながらも熱心に講義に聞き入っていました。生徒の皆さんの感想を裏面に掲載してあります。



進路ガイダンス第70号が発行されました！



進路ガイダンスが発行されました。進路編では、大学入試とは何か、そのスケジュールをはじめ、学校推薦型選抜や総合型選抜の手続きについてなど具体的な情報が盛りだくさんです。また、昨年度の指定校の情報、卒業した先輩たちの共通テストの得点状況なども知ることができます。合格を勝ち取った先輩が書いた合格体験記も参考になります。ぜひ、この夏熟読してください。

オープンキャンパスで研究室フィールドワークをしよう！

東北大学オープンキャンパス・・・昨年度も1学年全員で参加しましたが、今年度も本校のイノベーションコースト構想事業の一環で、7月30日（水）に1学年全員と2・3年生の希望者で東北大学オープンキャンパスに参加します。さまざまな学部のある東北大学で研究室フィールドワークを行うことで学問分野の研究や進路選択につなげてほしいと思います。

茨城大学オープンキャンパス・・・今年度、進路指導部では茨城大学オープンキャンパスバスツアーを計画しました。8月1日（金）に開催される茨城大学のオープンキャンパス（水戸キャンパス）に1年生から3年生の希望者のみなさんが参加します。水戸キャンパスには人文社会科学部・教育学部・理学部・地域未来共創学環があります。自分の目で見て、感じて、学びに向かう刺激にしてほしいと思います。

夏休みは多くの大学がオープンキャンパスを実施しています。1つの大学だけではなく、ぜひ、複数の大学のオープンキャンパスに参加してください。インターネットのホームページではわからない、教授たちや学生、大学の雰囲気を感じることができます。模擬講義を聞いたり、ポスター展示を見たり、充実した日になってください。もちろん、記録に残すことも忘れずに！

講義ライブ感想より （抜粋）

東北大学災害科学国際研究所災害人文社会研究部門
空間デザイン戦略研究分野特任教授 刈谷 智大 先生の講義を受けて

アントレプレナーシップが風光・まちづくりに必要なことだとした。自分の好きなことに周りを巻き込めるようにするには熱意や明確な目標が大切だと感じた。まちづくりを進めるのは、行政などに興味がある人だけではなく、どんな分野の人でも興味があることにうちこんでいて、それが人やまちのためになっていることが大切でそのことがアントレプレナーの１歩につながると思った。高度なシレンマにも負けないこと。それを活用して新たな未来につなげようと思った。（Aさん）

茨城大学人文社会科学部 現代社会学科
学科長 蓮井誠一郎先生の講義を受けて

講義を聞く前は、気候変動と戦争のつながりをイメージできなかったが、受講して「貧困」から環境破壊、それによって地球全体の問題へとつながるという負の連鎖について理解を深めることができた。特に印象に残ったのは貧困によって環境、経済、人的被害という人権に更なる影響があるということがとても印象に残りました。今後、進学して研究をするとともに自分が知識をどう活用すればこれから平和と環境に関わる問題を少しでも緩和できる家を見つけていきたい。それから、専門家としての実務家の専門家から研究をしていきたいと思いました。（Bさん）

東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻
教授 成田 史生 先生の講義を受けて

生ごみが車の燃料になるかもしれないことや、小さいロボットが体内から治療すること、ロボットのみの工場など、どんどん発展していく未来の希望があって面白かった。テニスラケットに振動を感じ電気を作るものを入れてスイングスピードや打点など、様々な情報をスマホに送って上達できるのはとても夢があると思う。その応用で、ペットのくびわの振動で今居場所がわかるなど、今、様々な研究がすすんでいるのだと思った。私は地震の振動をエネルギーに変えて避難先で使えるようになればいいなと思った。複合材料がこれから世界を豊かにする。 今回の話が未来で実現するのがとても楽しみになりました。（Cさん）

キックオフ講演会感想より （抜粋）

東京科学大学副学長（産学官連携担当）
医療イノベーション機構長
教授 飯田 香緒里 先生の講義を受けて

好奇心は研究や学びを深める上で重要な役割を持っていて、何事にも好奇心や探究心を持って問題解決などに取り組んでいきたいと思いました。特に大学は未来をつくる実験場に変化しつつあるという言葉聞いて大学に行くのが楽しみになりました。私も医療系に進みたいので貴重なお話でした。（Dさん）

大学はただ授業を受けるだけの場所ではなく、知を深め、視野を広げて社会に貢献する力を養う場所だと大学への印象が変わった講演だった。学部や分野が違ってても手を取り合い、「異分野共創」を進めて社会の発展に寄与することをイノベーションということが分かった。企業や大学などのイノベーションの具体例を調べてみたいと思った。（Eさん）

今まで、大学の先生の話聞くことがなかったので、とてもいい機会になりました。今まで考えていた「大学の役割」とは異なる新しい視点を知ることができました。東京科学大学のように異なる分野の学問を交わせる（異分野融合）についても知り、今は異分野融合が増えていることを聞き今後良い社会が築かれるのではないかとこれからが楽しみになりました。（Fさん）

日本の経済課題から大学の役割を変えたのは驚きました。医療がAIなどの工学と関わって開発をしているのは知っていたが重要性は詳しく理解できていなかったで、その規模を知って、講演を聞く前よりも、医療技術がすごいと思えるようになりました。今日の講演をきいて、前よりも医療に興味がわくようになりました。また医療が私が思っているより経済に関わっていることに気づき、世界の課題と深く関わっているのだと感じました。これからの医療の発展がとても気になります。（Gさん）